



太陽とともだち

参加チーム、決定 …… 139台が集結！

心の落ち着かない国際情勢、国内に目を向けても経済への不安、心の痛む事件もしばしば…。

それでも、希望は持ち続けたいです。人間が愚かになりきらないことを願い続けたいです。私たちの未来を、あきらめたくはないですね。

もうすぐ、心に太陽を持ち続ける私たちの季節がやってきます。皆様の汗と涙の結晶の愛車たちが次々ここ大湯村へ集結する日もあとわずか。皆さん、出場へ向けての準備は順調ですか？

さて、そういう事務局はといいますと今年はかなりスロースタートとなってしまう、作業の遅れから情報提供が行き届かず・出すべきものも出せず、といった状態でして…。皆さまには本当にご迷惑をおかけしていますが、なにとぞご容赦ください。



さて、ようやくエントリー状況がまとまってきました。ソーラーバイク・レースには、84台。ソーラーカー・ラリーには全国各地から55台（JISC：23台、WSR：32台）の申し込みをいただきました。今年新設されたJISC・燃料電池部門には5台が出場を予定しています。

じき7月に突入。大会までほぼ1ヶ月となりました。

みなさんの情熱と太陽の力で、今年のソーラー大会を大いにもり立ててくださいね！

競技上の注意事項・連絡事項

【計測用発信機取り付けについて】

計測用として、各車両には《小型発信機（トランスポンダ）》を取り付けていただきます。同封の資料をご覧くださいの上、各自、予め取り付け準備を施してきてください。くれぐれも競技中に発信機が外れることのないように、ご注意ください。

【ヘルメットについて】

ヘルメットご購入の際には、レギュレーションに合致するかどうかご注意ください。

【備品準備のお願い】

今大会は競技マッシュルを大幅に削減しており、レース中のピット周辺及びコース上での安全確保は、エントリー自身・相互の責任となります。よって、以下の備品を予め準備してくることを義務付けます。

- 1) イエローフラッグ 2本（ピット周辺用 縦60cm×横80cm程度・車載用 縦30cm×横40cm程度）
ただし、車載用については、バイクのように車載が困難な場合は黄色の布を携帯も可。
- 2) ホイッスル 2個（ピット周辺用・車載用）
- 3) 筆記用具 適宜

また、「IDカード」については、入村受付時にカードのみ（ライド→ドライブを除く）配布します。（縦5.5cm×横9cm）ケースは各自でご持参ください。

【自動車保険の加入について】

全競技車両は所定の自動車保険への加入が義務付けられております。各自、最寄りの保険会社で加入の上、保険証券の控え（北-）を事務局へ提出してください。なお、入村受付時には、あいおい損害保険さんのご協力により、即加入できる受付カウンターを設置の予定です。また、メンバーの傷害保険については、補償内容（補償額）は特に規定しませんが、大会期間中の事故に対し有効な傷害保険に加入していることが必要です。

【エントリー書類内容の変更】

書類郵送にてのエントリー・WEBエントリーに関わらず、未入力項目・未提出・未記入・規定違反などがないか確認してください。また、届出内容の変更は、正確を期すため申込書の様式に従い、裏面（郵送・FAX・E-mail）で速やかに提出をお願いします

なお、WEBエントリーは5月31日をもって終了しております。これ以降、WEB上での変更は出来ません。すべて書面の提出にて変更受付となりますのでご注意ください。

ピット情報

各チーム用のピットとしてテント（間口7.2m×奥行3.6m）を設営します。ソーラーバイクは3台で1テント、ソーラーカーは2台で1テント（F-1は1台で1テント）の使用となりますので、チーム間でマナーを守り協力し合ってください。スペースが狭く、はみ出す車両もあるかと思しますので、各自で対応策を準備してきてください。

尚、テント内には照明及び電源2口コンセント1個を設置予定ですが、電力に余裕がありませんので消費電力の大きいものはご遠慮ください。（炊飯器・電子レンジ・電気冷蔵庫等）

キャンプ情報

エントリー宿泊用として仮設キャンプ場を設営します。1区画あたり約40㎡、路面は未舗装の更地、地盤が軟弱なため大型車両の乗り入れは不可。必ず大型専用駐車場に駐車してください。場内には、トイレ、炊事場は設けますが、シャワー、洗濯機は設置しません。（お風呂はぜひ「ボルダー湯」をご利用ください。）この施設はたくさんの参加者の共有の場です。皆が気持ちよく利用できるようご協力をお願いします。尚、キャンプ場利用の意向を同封の調査票にご記入の上、7月14日（月）までご返送ください。（FAX可）

ボランティアスタッフ

今年もまた、参加チームの皆様からボランティアスタッフとして運営にご協力いただきたいと思っております。主な業務は、コースマッシュルや車検の補助などを予定。半日以上出務してくれた方には、記念Tシャツをプレゼント！！同封の出務調査票にご記入の上、7月14日（月）までご返送ください。（FAX可）

会場への進入路について

昨年度まで通行禁止となっていた南部排水機場側からの進入が可能となりました。また、八郎湯方面からの進入路（堤防沿いの道路）も通行できます。

コース脇の側道は時間帯に関わらず閉鎖します。コース内に小石や土埃などが入らないための処置ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

コースでの試走について

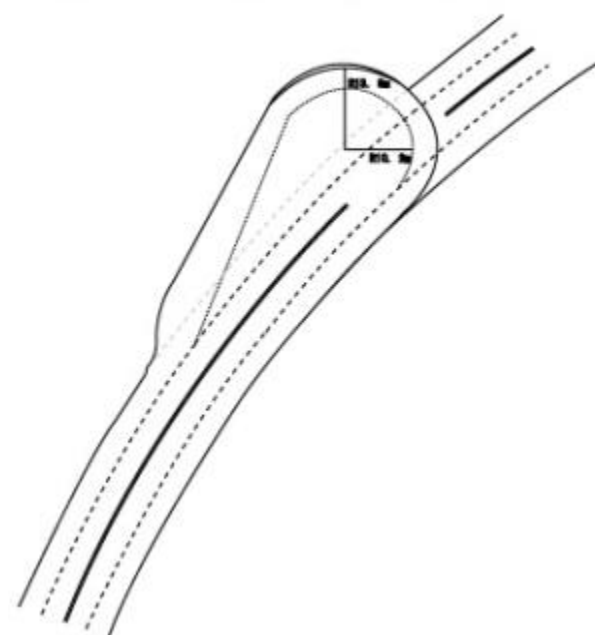
大会準備等の都合により、7月19日（金）・20日（木）を大会出場チームに限り、使用料を無料とします。期間外は通常料金となります。（ソーラーバイク 利用人数1人につき4時間まで100円、ソーラーカー 車両1台につき4時間まで1,500円）利用の際はエントリー完了通知を提示のこと。他チームや一般利用者（自転車・マラソンなど）との共用もあり得ますので、マナーを守り事故防止に十分配慮してください。伴走用自動車の乗り入れは各チーム1台まで許可しますが、それ以外の一般自動車の乗り入れは厳禁です。その他、係員の指示に従ってください。【大湯村ソーラースポーツライン管理棟 0185-46-3910】

折り返し地点が変わります

今年(2003年)のレースから北部排水機場の改修に伴い北折り返し地点が変わります。

昨年までは1周31.256kmでしたが、今年は1周25kmに短縮されます。R(折り返し曲面)も小さくなりますので、レース時、旋回に支障のないようお願いいたします。

25kmコース折り返し地点図



周回数・ライダー数の変更(WSBR)

1周25kmへの変更に伴い、バイクの周回数が3周から4周に変更となります。ご確認ください。

また、公式通知でもお知らせしていますが、ソーラーバイクのライダー数を4名まで登録できるようになりましたので、変更等ありましたら事務局まで書面でお知らせ下さい。

ISF公認太陽電池リストについて(WSBR)

昨年度から変更はありませんが、レギュレーション送付の際、通知しておりませんのでお知らせします。

太陽電池：最大出力50W以下

メーカー名	型式	数量
エム・エス・ケイ	MSF5001	1枚
エム・エス・ケイ	MSF2501	2枚
京セラ	PSF100H-361F	1枚
京セラ	PSF50H-361F	2枚
京セラ	PSF25H-361F	4枚
三洋	P023	1枚
三洋	P022	2枚
三洋	CSP-5017C	1枚
シャープ	NT3436(BD)	1枚
シャープ	NT3432(BD)	1枚
昭和シェル石油	ET132(試験:EL132-SP)	1枚
昭和シェル石油	ET232(試験:EL232-SP)	2枚
昭和シェル石油	FT136-E	1枚
昭和シェル石油	FT236-E	2枚
昭和シェル石油	FT132-E	1枚
昭和シェル石油	FT232-E	2枚
昭和シェル石油	FL136-SP-93	1枚
大同ほくさん	HSC-5010-S	1枚
大同ほくさん	H-50-SB	1枚
Solarex	MSX-10Lite	2~5枚

蓄電池：小形制御弁式鉛、総重量8kg以下

メーカー名	型式	数量
シー・コーレンス	A512/3.5S	4個
新神戸電機	HV5-12	4個
新神戸電機	HP10-6	4個
ホーカー	Dセル(2x3)	4個
古河電池	FPX1250	4個
古河電池	(試験:FPX5-12)	4個
古河電池	6M10	4個
ユアサ	NPH5-12	4個
ユアサ	NP10-6	4個
日本電池	PX12050	4個



大会日程

WSBR(ワールド・ソーラーバイク・レース)

2003年7月25日 入村受付・車両検査 15:00~17:00 最高速度コンテスト
 7月26日 11:00~15:00 カテゴリーA・B マラソン
 7月27日 10:00~15:00 カテゴリーS CAR GRAPHIC杯耐久ラリー

JISC/WSR(全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ)

・ワールド・ソーラーカー・ラリー

2003年7月29日 入村受付
 7月30日 車両検査
 7月31日 タイムトライアル
 8月1日 8:15 開会式・出走式 9:00~17:00 第1日目
 8月2日 8:00~17:00 第2日目
 8月3日 8:00~16:00 最終日 18:00~表彰式・閉会式

2003 ワールド・エコノムーブ 結果報告

5月3日・4日ワールド・エコノムーブ開催されました。鉛蓄電池には78台、新設された燃料電池部門には12台のエントリーがあり、世界初の燃料電池レースの開催ということもあってか予想以上の盛り上がりを見せました。事前に情報をお届けすることが出来ず、結果のみ報告いたします。(※池m□m)

【ジュニアクラス】

優勝 101 和歌山県立紀北工業高等学校
 第2位 121 栃木県立今市工業高等学校A
 第3位 122 栃木県立今市工業高等学校B

【特別賞】

グッドデザイン賞 201 TGM Ashida
 ・カテゴリー賞 208 長野工業高等学校
 実行委員会特別賞 8 チーム トシヤン
 コストパフォーマンス賞 121 栃木県立今市工業高等学校A
 チームワーク賞 206 宇都宮工業高等学校
 ベストエンジニア賞 16 なかよしZDP 池上敦哉
 大湯村村長賞 133 育英高専はぐれ放送部
 菜の花賞 210 育英高専
 古河電池賞(オープン) 10 藤原板金工作所
 (ジュニア) 111 盛工 Car Club

【オープンクラス】

優勝 16 なかよしZDP
 第2位 6 ホンダエンジニアリングEYER-BLUE
 第3位 7 東海大学木村研究室

【燃料電池部門】

優勝 205 チーム“ヨイショット!”ミツバ
 第2位 208 長野工業高等学校
 第3位 206 宇都宮工業高等学校



詳細は公式ホームページでも公開しています。
<http://www2.ogata.or.jp/>
 (大湯村ホームページ内)

発行：『ワールド・ソーラーカー・ラリー実行委員会事務局』『全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ実行委員会事務局』
 〒010-0494 秋田県南秋田郡大湯村字中央1-1 大湯村スポーツイベント支援センター内
 TEL 0185-45-3999 FAX 0185-45-2162 E-mail wsr@ogata.or.jp または jisc@ogata.or.jp
 2003年6月27日 発行 ホームページ <http://www2.ogata.or.jp/> (大湯村ホームページ内)